

令和の初登山はロンリー縦走

## 南会津 会津朝日岳～会津駒ヶ岳

### 1日目

会津朝日岳登山口から出発するとすぐに沢の渡渉となる。ここはザックを下ろして登山靴を脱いで裸足になって通過した。雪解け水の冷たさで足が痺れる。

登山靴を履いて再出発すると今度は雨が降ってきた。登山道から離れて、植林の中に入って雨宿りをする。しかし、待てど暮らせど雨は止む気配を見せてくれない。いくら待っても埒があかないので、ヤッケを着込んで三度出発することにした。

しばらく雨のなかを歩き地形図で赤倉沢の水線が途切れる地点に来ると、今度は雪渓が出てきて登山道が分からなくなってしまった。どうやら登山道は雪代で増水する沢を渡った先に続いているらしい。この激流を突破するために適当な場所を探す必要があるが、これがなかなか見つからない。雪渓の上で右往左往しながら、やっと上流に大股開きで対岸へ渡れるポイントを発見できたので、今度は登山靴を履いたまま、ストックを沢の中に突いてバランスを取りつつ、恐る恐る激流の上を通過した。

一休みしてから尾根に取り付くと、今度はなんと雹が降ってきた。今日ほとんどツイてない。雪に覆われた斜面でアイゼンを履きながら天候の回復を待つことにした。空を見上げると西の方角に青空が見えていたので、直に晴れてくるだろう。予想は的中して叶の高手に差し掛かる頃には、さっきまでの悪天候が嘘のような青空が頭上に広がった。日差しを浴びながら主稜線を歩き、山頂直下に建っている会津朝日岳避難小屋で泊とした。

### 【日程】

2019年5月2日(木)  
～5日(日)

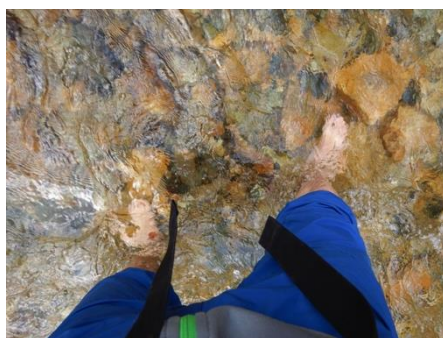
### 【メンバー】

吉澤(L)

### 【地形図】

田子倉湖、会津朝日岳、高  
幽山、内川、会津駒ヶ岳、檜枝  
岐

### 【記】吉澤



雪解け水はキンキンに冷えている



次第に空は青空に

## 2日目

4時頃に起きて6時頃に出発したはず。時間を記録していないので正確な時刻が分からない。今日の核心は会津朝日岳から大幽朝日岳へ向かう主稜線の途中にある岩マークのヤセ尾根「鋸齒」の通過だ。まずは会津朝日岳までの急斜面を休み休み登り、無事主稜線に出ると、会津朝日岳山頂を踏んでから歩を進めた。

「鋸齒」に雪はなく、藪は出ていたが踏み跡がついていた。これは運が良い。意気揚々と進んでいく。

しかし、次第に踏み跡は薄くなり、ついには藪の中に消えてしまった。結局、覚悟していた藪漕ぎが始まる。シャクナゲとハイマツが絡み合う激と格闘していると、途中雨蓋から水筒が落ちて崖の途中で運良く止まった。どうして雨蓋から荷物が飛び出したのか、不思議に思いザックを下ろすと、なんと雨蓋のジッパーが全開になっているではないか。藪漕ぎの最中に開いてしまったらしい。水筒以外に必要なものは落としていないようなので、お助け紐を取り出して水筒の救助へ向かうことにした。藪に支点を工作し、スリングでチェストハーネスを作り、そこにカラビナを2枚セットしてハーフノットで懸垂する。

無事水筒を救出した後は、再び藪との格闘が始まる。大幽朝日岳を超えれば藪は終わると思っていたが、結局大幽朝日岳を越えた先にある1552ピークの、さらにその先まで藪は続いていた。さすがに目の前に雪面が現れたときは救われた気持ちになった。

当初はこの近辺で幕とする予定だったが、まだ12時前なので頑張って歩くことにする。雪の上は藪漕ぎに比べれば相当楽に歩けるが、アイゼン団子が疲れた足にじわじわ負荷をかけてくる。結局へろへろになりながら丸山岳を越えて、2日目は山頂直下の樹林帯を整地して幕とした。

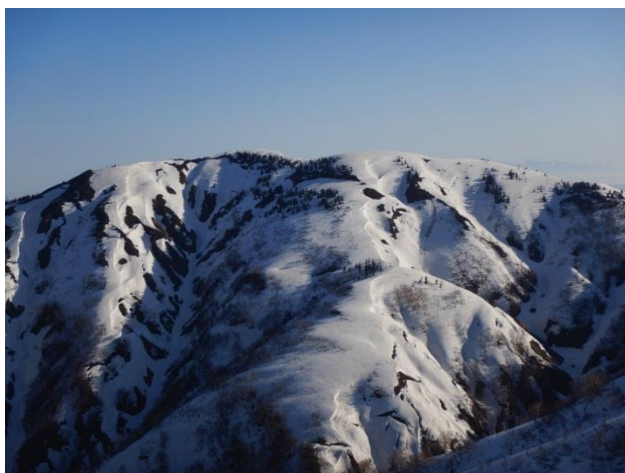


会津朝日岳から見た鋸齒



藪と格闘すること約3時間

## 3日目



マイナーピーク丸山岳

3日目も4時起ききの6時出発だったはず。進路となる尾根に目を向けると、どこまでも雪で覆われていた。藪漕ぎはもうしなくて済みそうだ。軽くなった気持ちで雪原を歩いていると、前から男性の二人組が歩いてきた。こんな場所で人に会うとは、自分も含めて奇特な人はいるものだ。

3日目は雪の上を早いペースで歩くことができた。梵天岳、高幽山を越えて幕場予定地にしてた坪入山手前で腕時計を見ると、時刻はまだ10時じゃないか。このペースなら、頑張れば会津駒ヶ岳まで行けるかもしれない。小屋に行けばビール

が買えるはず。軽量化のためにアルコールを一滴も持参しなかったのが、体がお酒を欲していたのだ。頑張ろうと心に決めて歩き始めた。

しかしである。この日は快晴で気温も高く、12時近くになるについて、暑さと疲労で次第に足が重くなっていく。やっと坪入山を越えて窓明山に到達する頃には、先ほどまでの気持ちがすっかり折れていた。目の前にはダラダラと標高を上げる三岩岳への斜面が広がっている。もう、適当な場所でテントを張ろう。ときには自分を許してあげることも大切だ。

三岩岳の避難小屋を過ぎて、足を引きずるように斜面を歩いていると、今度は前から柴犬を連れた老夫婦が下りてきた。「どこまで行くんですか？」と尋ねられたので、とりあえず「会津駒ヶ岳まで行きたいんですけどね」と見栄を張ると「予約はしていますか？」と聞き返された。なんでも駒ノ小屋は予約をしていないと宿泊させてくれないらしい。しかも周辺にテントを張ることすらできないと言うのではないかと。こんな話を聞いたら、ますます先を急ぐ理由がなくなってしまった。老夫婦と分かれて三岩岳に登頂すると、その先にある2060ピークの直下に泊ることにした。



三岩岳で出会ったワンちゃん



1時間もかけて整地した極上の幕場

#### 4日目

当初は4泊5日で計画していたので、昨晚は1日分の食材を夕食に追加して、お腹を満たしてからシュラフに入った。おかげで疲れはとれて、荷物も減ったので体が軽い。ゴールである会津駒ヶ岳まではあっという間に到着した。

山頂で記念撮影を行い、北の方角を眺めると辿ってきた稜線が見渡せた。よくもまあ、こんな遠くまで歩いてきたものだ。少しだけ自分を褒めてあげたい。

駒ノ小屋を後にして一般登山者に混じって檜枝岐へ向かって斜面を下る。背丈を越えるほどのザックを背負っているのは流石に自分しかいない。目立たないように胸を張って、清々しい気分で雪の斜面を駆け下りた。

【行程】 時間は分かりません。

5/2 いわなの里～叶の高手～会津朝日岳避難小屋（泊）

5/3 C1～会津朝日岳～大幽朝日岳～丸山岳～1750m付近（泊）

5/4 C2～梵天岳～大幽岳～坪入山～窓明山～三岩山～2050m付近（泊）

5/5 C3～大戸沢岳～会津駒ヶ岳～会津駒ヶ岳登山口



会津駒ヶ岳の山頂でハイチーズ！